

「高松市脱炭素先行地域共創コンソーシアム」設立への参画について ～副会長として高松市の脱炭素化を推進～

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、2026年7月30日（木）に高松市が設立した「高松市脱炭素先行地域共創コンソーシアム」において副会長として参画しましたのでお知らせします。

当行は、2024年7月、高松市と「脱炭素社会の実現に向けた連携協定」を締結して以来、地域金融機関としてお取引先企業の脱炭素経営を支援してまいりました。今後は本コンソーシアムの副会長として、地域に根ざした広範なネットワークという強みを最大限に発揮し、企業一社一社に寄り添う伴走支援のもと、資金面・情報面の両面から高松市の脱炭素化を力強く後押ししてまいります。

【コンソーシアムの概要】

2026年2月13日に、高松市が環境省の「脱炭素先行地域」に選ばれました。高松市の提案では、当行を含む23の市内事業者・団体等が共同提案者となり、地域脱炭素に取り組むこととしています。

本コンソーシアムは、高松市長 大西 秀人氏を会長とし、共同提案者を中心に企業・団体・大学・金融機関・行政等の幅広い関係者がそれぞれの知見を持ち寄り、多様な形で連携・共創しながら取組みを推進する実施母体です。再生可能エネルギーの導入拡大やエネルギーの地産地消の推進、市民・事業者の行動変容の促進などに取り組む、脱炭素と地域課題の解決の同時実現をめざします。

<設立総会の模様>



以 上